

(別添資料1)

事業所名

多機能型事業所 遊

支援プログラム

作成日

7 年

2 月

26 日

法人（事業所）理念		・私たちは一人ひとりの生き方を大切に必要な時に必要な支援を提供します。 ちは住み慣れたこの地域で安心して豊かな生活が送れるように支援します。 に心地よい安全・安心な暮らしができるように支えあいます。			・私た ・私たちは共	
支援方針		重症心身障がい児・者に特化した法人として、安心して過ごすことができる場所として、医療的ケア・日常生活支援・療育活動を専門スタッフ（看護師・理学療法士・保育士・児童指導員・介護福祉士・栄養士・調理師）の知識、技術、連携を大切に「力強く生きるチカラを育てる療育」を行っている。				
営業時間		8 時 0 分から	19 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	【バイタルサインの測定】 確実なバイタルサイン測定。通常と異なることはないか注意深く観察し、早期発見・対応。環境に適応しながら成長と発達を遂げていくため「普段の状態」を常に把握し、心地よい環境・安定した身体状態の中で一日が過ごせるように環境を整える。細やかな観察による小さな変化を見逃さないことが、普段の心身共に健康状態を維持できることになる。 【身体計測】 発育・栄養・水分・全身状態の把握が重要となり、栄養量、水分量、薬剤投与量の算出時に変化をとらえるために、毎月の体重測定と日々の全身状態の把握は自社で行う。基礎情報の管理を基に些細な変化から判断する。				
	運動・感覚	【粗大運動・感覚遊び】 音楽療法・ミュージックケアによる特性を活用。プログラムを通して音楽やリズムに合わせて、揺れる・回る・弾む・止まる等のダイナミックな動きでバランスを楽しみ、体の認識をする。「視覚」「聴覚」「触覚」「固有受容覚」「前庭覚」など様々な感覚で触れ楽しむりハビリテーションと援助活動を専門職により行う。遊びを通して外界からの刺激をうまく受け止めることができるようになり、柔軟に対応できる力がつき意欲的に遊ぶことができるようになる。姿勢・動作からの補助活動手段の活用する。				
	認知・行動	【快・不快の表出】 快・不快な自身の思いが周りに伝えることができるように、自身の思いの表現の仕方を理解できるように促し、個々の特性を活かして正しく認識させる。【感情・行動の表出】 不安や不快を感じた時に、その状況や行動を伝えることができるよう記録し肯定していく。柔軟に対応できる力がつけば自身の思いや考えを見直したり、気分を楽にすることができるように繰り返し取り組む。環境への適切な認知と適切な行動の習得を促す。				
	言語コミュニケーション	【非言語コミュニケーション力】 言語以外の手段による非言語コミュニケーション（表現能力）を身につけるための療育活動を行う。【表情、視線、ジェスチャー、声の調子、姿勢、皮膚、距離、体温等】感情が表出しやすい環境を整え、開かれた質問や声かけにより状況把握し、本人の思いを受けとめる。適切に自身の思いを伝える情報を提示する。言葉の受容及び表出の向上を目指し評価による段階付けを行い感覚的にコミュニケーションの取り方を段階を踏んで促す。				
	人間関係社会性	他者との関りを大切にできる場面、環境を整える。生きる力を養うためのヘルプを出すことができる関わりを重視した人間関係の形成、やり取りを楽しめる関係性を広げる。				
家族支援		・ご家族からの情報提供により、本人の近況状態について何う時間を頻回に設ける。 ・ご家族が安心して生活が送れるよう、相談援助及び支援の組み合わせを含む情報提供。 ・保護者同士のコミュニティの場を設ける。		移行支援	・学校、各事業所での支援の取り組みや、実態把握等の情報共有を図り、一貫した支援体制の提供ができるように取り組んでいる。	
地域支援・地域連携		・関係機関との連携による情報交換。各専門的チームで取り組みをチーム連携により、繋がる支援体制を築く。		職員の質の向上	・年間を通して、様々な専門講師による研修の実施、毎月の担当支援会議、活動ミーティング、所属会議等で情報共有、検討会を開催している。	
主な行事等		年間行事（お花見・バラ散策・七夕祭り・そうめん流し・お月見茶会・ハロウィン・みかん狩り・菊花展・クリスマス会・書初め・節分・ひな祭り）買い物・食事外出・お誕生日希望メニュー・希望活動・防災訓練・イベント開催（秋のコンサート・フラメンコ鑑賞・チェロコンサート）				